

## 会 議 概 要 報 告

1. 会議の名称	令和3年度第1回潟上市行政改革推進委員会
2. 開催日時・場所	令和3年7月20日（火）10時00分～10時52分 潟上市役所 4階 大会議室
3. 委員等の人数	8人
4. 出席委員等の人数	7人
5. 議題	(1) 推進委員会の進め方について (2) 令和3年度行政評価について
6. 傍聴者の数	0人
7. 会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 令和3年度潟上市行政改革推進委員会について(案)</li> <li>・資料2 令和3年度潟上市行政改革推進委員会スケジュール(案)</li> <li>・資料3 令和3年度評価(令和2年度実施分)事務事業一覧(案) (令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業)</li> <li>・資料4 第2次潟上市総合計画(前期基本計画)の体系図</li> <li>・当日配布資料1 令和3年度(令和2年度事業実施分)潟上市事務事業評価表(案)</li> <li>・当日配布資料2 令和3年度行政評価 外部評価シート(案)</li> <li>・当日配布資料3 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業について</li> <li>・当日配布資料4 令和2年度潟上市行政評価に係る最終評価結果一覧</li> </ul>
<p><b>【会議要旨】</b></p> <p>1. 今年度は本委員会において、行政評価と第4次潟上市行政改革大綱実施計画の進捗状況について協議する。</p> <p>2. 外部評価対象事業は、事務局案として抽出した5事業とする。</p> <p>3. 次回は10月上旬開催予定。</p> <p><b>【会議録】</b></p> <p>1. 開会（企画政策班長）</p> <p>2. 委員長あいさつ</p> <p>・委員長</p> <p>改めまして、おはようございます。本日、令和3年度第1回行政改革推進委員会を開催するにあたりまして、連日猛暑が続く中、皆さんのお体もお疲れのことと思いますが、本日の委員会にご出席いただき誠にありがとうございます。資料が配付されておりますが、本日の協議案</p>	

件は2点であります。この後事務局から説明がございますので、よろしくお願いいたします。

また、コロナ禍の中で秋田県は落ち着いたのかなと思っておりましたところ、1ヶ月前から連日のように感染者が出ております。昨日は感染者がゼロだったようですが、今後もコロナウイルス感染症の影響が続くのかなと感じております。ワクチン接種もかなり進んできているようですが、ウイルスがどこにあるのかわからない中で、皆さんも大変な状況にあると思っております。本日の委員会の進め方も可能な限り短時間で進めていきたいと思っておりますので、最後までご協議にご協力のほどお願いいたします。

### 3. 協議事項

(1) 推進委員会の進め方について

(2) 令和3年度行政評価について

(3) その他

(※資料に基づいて事務局より説明)

・委員長

3 (1) 推進委員会の進め方について、ご意見等がございましたらお願いします。

(意見なし)

・委員長

3 (2) 令和3年度行政評価についてですが、今年度本委員で協議する事業について、事務局より5つの事業提案がありました。コロナ関連事業は大変難しいものであると私自身思っております。提案のあった5つの事業以外に、本委員会で協議することが望ましいと思われる追加事業がありましたらご発言をお願いします。

(意見なし)

・委員長

私から質問させていただきます。

交付金を活用した事業の検証結果について県や国に報告しなければならないと思いますが、こういった内容の指示がきているのか教えてください。

・事務局

報告義務はありませんが、実施状況を公表するよという旨の事務連絡が届いております。本委員会において交付金事業すべてについて評価していただき、市ホームページを活用して事業の実施状況等について公表したいと考えております。

・委員長

交付金事業のうち5つの事業を取り上げ、本委員会において協議していただきたいという提案ですね。

・事務局

そのとおりです。交付金事業のうち、より市民生活に近いものと考えられる事業について、本委員会の中で皆さまからご協議していただきたく、提案させていただきました。例年どおり、最終的には協議結果について市長に報告したいと考えております。

・委員長

委員の皆さま、何かご質問またはご意見はございませんか。

・委員

昨年度までは、来年度に向けてどうしていこうかという内容について協議していたが、今年度はすでに完了した事業について評価するということになるのでしょうか。今年度、来年度に向けて何か取り組んでいきましょうといった話は特にないことになるのでしょうか。

・事務局

実際には、昨年度実施した事業について評価していただきます。ただ、今年度もコロナ交付金事業を実施する予定でございます。また、この先コロナ交付金事業に限らず、感染症の影響による事業だとか既存事業の方向性の転換などについても、委員の皆さまから広くご意見を頂戴したいと考えております。実現可能なものに関しては、来年度の予算編成の際に反映したいと考えております。

・委員

今年6月議会で承認された感染予防環境整備支援事業については、今年度の評価対象にはならないということですね。

・事務局

令和3年度事業であることから、今回の評価対象事業には入っておりません。

・委員

完了していない事業なので、評価ができないということですね。分かりました。

・企画政策課長

今年度皆さまから評価していただく事業については、令和2年度事業であり、その効果などについて評価していただきます。コロナ禍がいつ収束するのか見通しが立たない状況の中で、今年度もコロナ感染症対策事業等を実施していくわけですが、評価結果を今後の事業展開やア

フターコロナを見据えた施策に生かしていきたいと考えております。委員の皆さまからは、そういった目線で評価を頂戴したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

・委員長

例年の行政評価と異なっているので、少し難しいかなと思います。コロナ交付金事業27事業のうち、事務局から本委員会において協議する事業について5事業の提案がありました。提案事業以外に追加すべき事業または他事業と差し替えした方が良いのではないかな等、ご意見がありましたらご発言をお願いいたします。

・事務局

補足説明です。本委員会の中で委員の皆さまから協議していただく5事業についてですが、事業No. 5「情報発信強化・アクセシビリティ向上事業（市ホームページ事業）」や事業No. 11「健診予約IT化事業」など、今後も継続的实施が見込まれる事業であること踏まえて提案させていただきました。

・委員長

ご意見がないようであれば、今年度の行政評価は事務局から提案された内容で進めてもよろしいでしょうか。

(委員一同、異議なし)

・委員長

そうすれば、今年度の行政評価は事務局から提案された内容で進めていくということで決定したいと思います。

また、昨年度の行政評価の今後の方向性について報告がありましたが、この内容について委員の皆さまからご意見ございませんか。

(委員一同、意見なし)

・委員長

評価事業の今後の方向性について、毎年度本委員会の中で報告できるようお願いします。

本日の協議案件は以上で終了となりますが、3(3)その他について事務局よりお願いします。

・事務局

次回の委員会開催の予定は、10月上旬頃を予定しております。内容は、外部評価をお願いする予定であります。1か月前を目途に改めて通知をお送りしますのでどうぞよろしくお願いいたします。

・委員長

次回委員会の開催が決まりましたら、各委員の方々ご出席をお願いいたします。他に事務局から何かありませんか。

・企画政策課長

私から少しお話をさせていただきます。

今回は、昨今の状況を鑑みてコロナ交付金事業について評価していただく提案をさせていただきました。評価事業とは別に、コロナ感染症によってこれまでの生活状況が一変し、行政としても各種事業を進めるにあたり、様々な状況を勘案しつつ、市民の皆さまのご意見をお伺いしながら、手探りで進めている部分も多くございます。そのような状況ですので、このあと皆さまから評価していただく中で、コロナ交付金を使うような事業であったのかというご意見を頂戴することがあるかもしれません。また、コロナ禍において状況が刻々と変化している中で、行政が対応できていない部分もあるかもしれません。例えば、事業No. 9「手作りマスク事業」についてですが、昨年度の春先にコロナウイルス感染症の感染状況が拡大しつつあり、市中でマスクが不足するという状況となりました。そのため、市民の皆さまのご厚意をお借りしてマスク不足に対応しようという趣旨の事業でしたが、現在はマスクが潤沢に揃っている状況でございます。コロナ禍における生活は刻々と変化しております。オリンピック開催後、我々の生活やコロナウイルス感染症の感染状況がどうなるのか分かりませんが、コロナ禍の生活を過ごされる中で感じていることや、行政に望む環境づくりなど、各々お考えがあることと思います。差し支えなければ、この場で皆さまのご意見やお考えをお伺いできればと思いますが、いかがでしょうか。

・委員長

ただ今事務局から提案がありましたので、委員の皆さま一言ずつお願いいたします。

・委員

コロナ禍において、会としての事業または個人としても、出歩いたり何かをするということができない状況であると感じております。いかに普段から色々な人との付き合いをすることが大切であるのかなど、様々なことを考えさせられました。

特に、弱者の方はこのような状況下でどのように暮らしているのかなと思います。恐らく色々な場面で大変なことが多いのではないかと感じております。出歩くこともできず、家に閉じこもっていると気が滅入ることもあるのではないかと思います。そういった時に、何かのつながりがあって、会えないにしろ電話を掛けたりすることができる状況にあれば良いのですが、そうでない方もたくさんいらっしゃいます。昨今の高齢化社会の進行や地域社会との関係性の希薄化などを考慮すると、精神的にダメージを受けていたり気持ちが沈んでいたりする人が多いように感じております。

また、アフターコロナにおいて、来年になれば徐々に色々な活動ができるのではないかと考えておりますが、この2年間で私たちを取り巻く状況はかなり様変わりしております。例えば、会と

しての今後の有り様についても、色々なことを考えさせられます。2年間不測の事態が続いており活動が制限されているわけですので、会員の中にはあってもなくてもいいという方も出てきております。先に立つ者として、かなり創意工夫してやっていかなければ、会が進んでいかなくなるのではないかと考えております。

いずれ、困っている方々もたくさんいらっしゃいますが、その方々の声はあまり市役所に届かないのではないかと思います。よっぽど困っている方であれば私たちにお話してくれますが、かなり悶々としていらっしゃる方が多いのではないかなと想像しています。漠然としていますが、来年に向けてかなり不安を感じております。

・企画政策課長

困っている方の声化市役所に届かないというお話がありましたが、その理由についてどうお考えでしょうか。

・委員

書類を一つ書くにしても、届いた書類について聞くにしても、そういった人間関係が構築できていないのだと思います。気軽に聞くことができないし、そういったお付き合いもしておらず、こういったことを聞いたら笑われるのではないかなという感じもあるのではないのでしょうか。聞いたり書類を持って来たりできる方は良いと思いますが、周りを見るとそうでない方が多く、市に対して言えず悶々としていらっしゃる方もいます。一緒に聞ける方がいる、お子さんもいる、電話もできる方ばかりであれば良いのですが、高齢化社会の影響もあるのか、そうでない方が徐々に多くなっているように感じております。

・企画政策課長

市役所が敷居が高いという言葉が聞きますが、そういう風に思わせてしまう環境があるということは市役所としての反省点であると思います。そういった方がいらっしゃるということを庁内で共有し、対応していきたいと思っております。

・委員

行政含め色々な団体の各種事業等が、中止や取り止めになっています。これもすべてコロナウイルス感染症の影響によって、集まることできない、または、実施することができないなど色々なことがあると思います。自治会の運営に係ることになりますが、市の自治会長会議だとかそういったものも開催できないことにより、すべての情報が昨年から途絶えてしまっているような状況が見受けられます。しかも自治会長というのは、大抵が2年ないし4年程度で交代するわけです。何もしないうちに次の人に替わってしまう。そういったことが繰り返されていけば、組織そのものが何もやらなくてもそれで過ぎ去ってしまうような、そういったことが出てきているのではないと思っています。祭り行事だとか地域活性化のために頑張ってきた行事そのものが、わからずじまいで次の方々に委ねることになってしまいます。市役所においても、それぞれの組織の中でできる会議、次の人につなげていくべきものはやはりやっていかな

ければならないと思います。その辺について、市はもちろんのこと中心となる方々ともう少し話し合いを持ちながら、できることはなるべくやってもらいたいと感じております。

また、先ほど市役所は敷居が高いように感じられるとのお話がありましたが、市職員も足りない中で膨大な事務量を抱えており、地域の中に出向いたりすることが非常に難しくなっていることも事実であると思いますが、地域の実情を知るためにそういった場面に市職員が出向いたり色々な方法で情報収集に努めたりすることは、やはり必要なことであると思います。

・委員

市ではワクチン接種を高齢者から順に進めるということで、インターネットや電話による予約の体制をとっておりましたが、高齢者はそういったことが苦手であると思います。今はかかりつけの医療機関でワクチン接種をすることができるようになっていますが、普段から医療機関に通院している高齢者の方も多いためを考慮すると、医療機関でのワクチン接種を最初にやっていただければ、もっとスムーズに進めることができたのではないかと思います。

また、ごみ収集に関してですが、1ヶ月位前に全く知らない人が軽トラックで空きカンなどの燃えないごみを集積所から持って行くことがあり、あれっと思うことがありました。それが2、3回位あったので、ごみの収集は業者の方でなくてもいいのかなと思っておりました。空きカンなどの燃えないごみであればまだ良いのですが、この間は燃えるごみを持っていかれました。空きカンなどは売却して利益になると推測できますが、燃えるごみであれば売却しても利益にならないでしょうし、個人情報が入っているものをどう処分するのかと考えると非常に不安です。そういった行為を市役所で許可している訳ではないと思いますが。

・企画政策課長

その件に関して、市へ連絡または警察へ通報はされていますか。

・委員

市に伺ってからと思っておりましたので、連絡等はしておりません。

・企画政策課長

法律が絡むこともありますので、市にご連絡いただければと思います。自分のものではないものを持って行くという行為自体が犯罪につながる可能性があります。

・委員

燃える・燃えないに関わらず、市で委託している業者以外にごみを持って行ってはいけないということですね。

・企画政策課長

捨てた本人はごみだと思っていても、ごみの中には色々な情報が含まれております。インターネットによって多少なりとも収入を得るようなことがあれば、犯罪につながる可能性があります。

ます。そういったことがあれば、積極的に市にご連絡いただければと思います。

・委員

先ほど吉田委員から高齢者に関するお話がありましたが、子育て中のお母さんも同じような状況にあります。どこに聞いたらいいのかわからない、そういったことを集まって色々話合いをしている中で解決していたものが、コロナウイルス感染症の影響によって行く場所がなくなり、毎日憂鬱だと話している方もいらっしゃいます。そういったところをどうやって行政の方で支援していただけるのか。また、難しいこととは思いますが、集まる機会をつくって何かしらお話ができれば、お母さんたちの気持ちも変わるのかなと思います。

小学校の、先生たちも頭を悩ませながら様々な感染症対策を講じてくださっており、不満もありつつ感謝もしております。今後状況がどう変わるかわかりませんが、引き続き対応していただければと思います。

・企画政策課長

子育て中の悩みなど、行政で支援できるものもあるでしょうし、行政でなく、同じ悩みを持ったお母さんたちが集まって悩みを解決するというのも実際にあると思います。そういった環境がコロナ禍で作りにくい状況になっています。そういった環境を作ることであったり、行政として何かしらお手伝いできることがあるかもしれませんので、悩みでも不満でも構いませんので行政にお話を持ってきていただければと思います。

・委員

私が携わっている建設業界に関しては、コロナウイルス感染症の影響はさほどありません。外国から仕入れる材料の在庫が一時的に不足するという話もありましたが、仕事自体は今のところ順調にやらせていただいているのかなと感じております。

ただ、働いている方のコロナウイルス感染症に対する危機感に温度差があります。気にせず県外に行ってしまう方がいる一方で、外出自粛制限をしっかりと守っている方もいます。そうした温度差の解消に努めておりますが、「オリンピックは開催するのに、なぜ秋田県の行事は開催しないのか」というような声もあり、段々と不満がたまってきているなど感じています。

・委員

当日配布資料3裏面に交付限度額が記載されておりますが、この内容について説明をお願いします。

・事務局

「5 本市の交付限度額（令和2年度）」は、前年度国から示された交付限度額になります。

「6 本市の交付限度額（令和2年度本省繰越分）」が、今年度活用可能なコロナ交付金事業の交付限度額となっています。先ほど岩谷委員からお話のありました、6月議会で承認された予防環境整備支援事業は「6 本市の交付限度額（令和2年度本省繰越分）」に含まれる事業にな

ります。

・委員

今年度分として、2億2千万円程度の予算があるということですね。

・事務局

そのとおりです。市の（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施）計画を作成し、その計画に基づいてコロナ交付金事業を実施していくことになります。

・委員

まだ1億円以上が予算としてあるということですね。

・事務局

7月中旬に、県へ実施計画をすでに提出しております。なお、冬頃に実施計画の3回目の提出が予定されており事業の削除または追加も可能です。

・委員

今年度は国の第3次補正分について実施計画を作成しているということですね。

・事務局

そのとおりです。

・委員

4次補正について、今のところ情報は出ていませんか。

・事務局

今のところ、ありません。

・委員

わかりました。

・委員長

最後に私からお話させていただきます。コロナ禍で感じていることになりましたが、ワクチン接種の申込も電話がつながらず、IT化が進みすぎて高齢者の方が苦しんでいるように思っております。外出や交流を控えるようにと言われていた一方で買い物は良いだとか、高齢者の方が地域の中で苦しんでいるような印象を受けております。地域の交流の場や市の主催事業等がほとんどないような状況の中で、人と人との交流の場がなくなってしまう、様々な情報が入ってこないという話も聞こえてきます。私自身、東湖八坂神社の祭典に関わっていたこともあり、

宮司さんから「伝統行事が神事だけになってしまった。2年間もこうした状況が続くと、本来の伝統行事そのものが今後形骸化されていくのではないか。」というような話がありました。各地域で行っている事業等も同じような状況にあると思います。2年間事業展開ができないと、3年目以降の立ち上げが本当に大変であり、また、3年目以降も本当に実施できるのかといった色々な話があります。

また、感染者の情報について新聞にはあまり出てきませんが、中傷デマが相当数スマホ等によって情報交換されているようです。以上です。

・企画政策課長

皆さま、貴重なお話をありがとうございました。

4. 閉会

・委員長

それではこれをもちまして本日の会議を終了といたします。ありがとうございました。

(10:52 終了)